

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

4-③

施策

だれもが安心して利用できる救急・医療環境を整える

担当部局

保健福祉局，消防局，市民病院

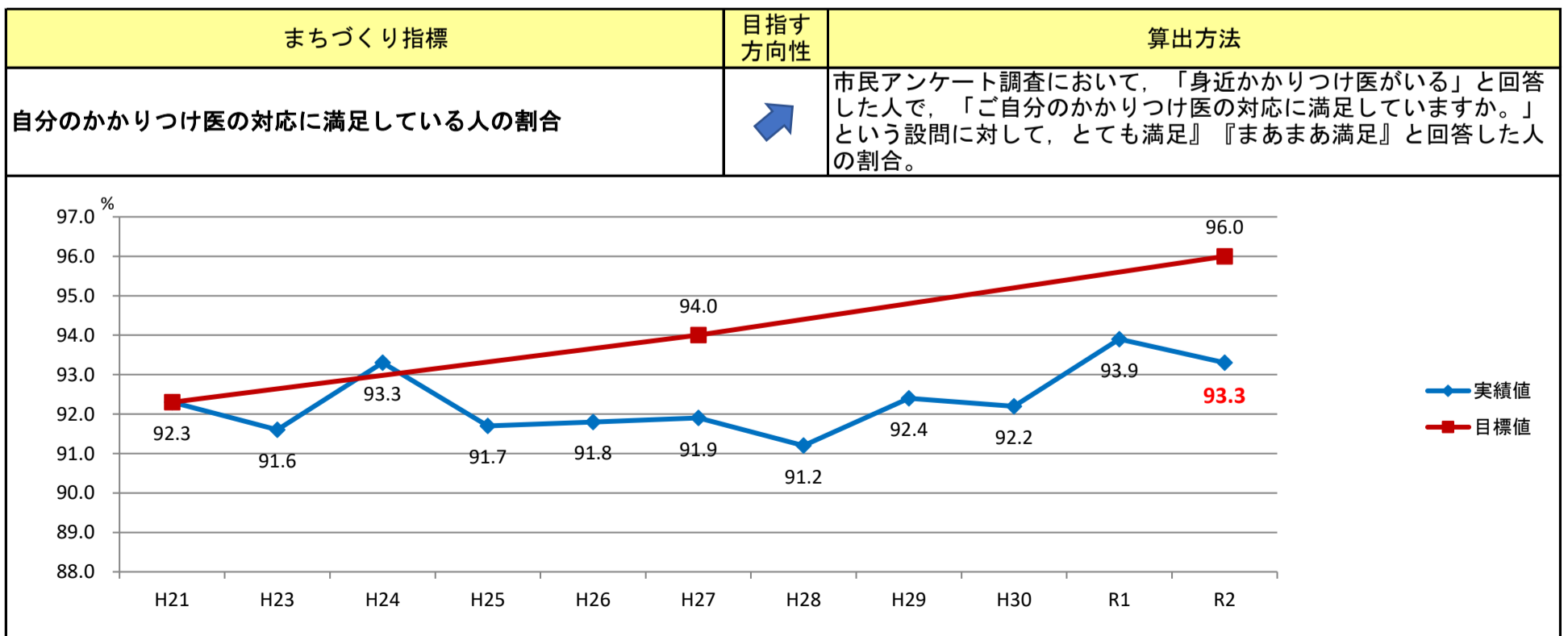
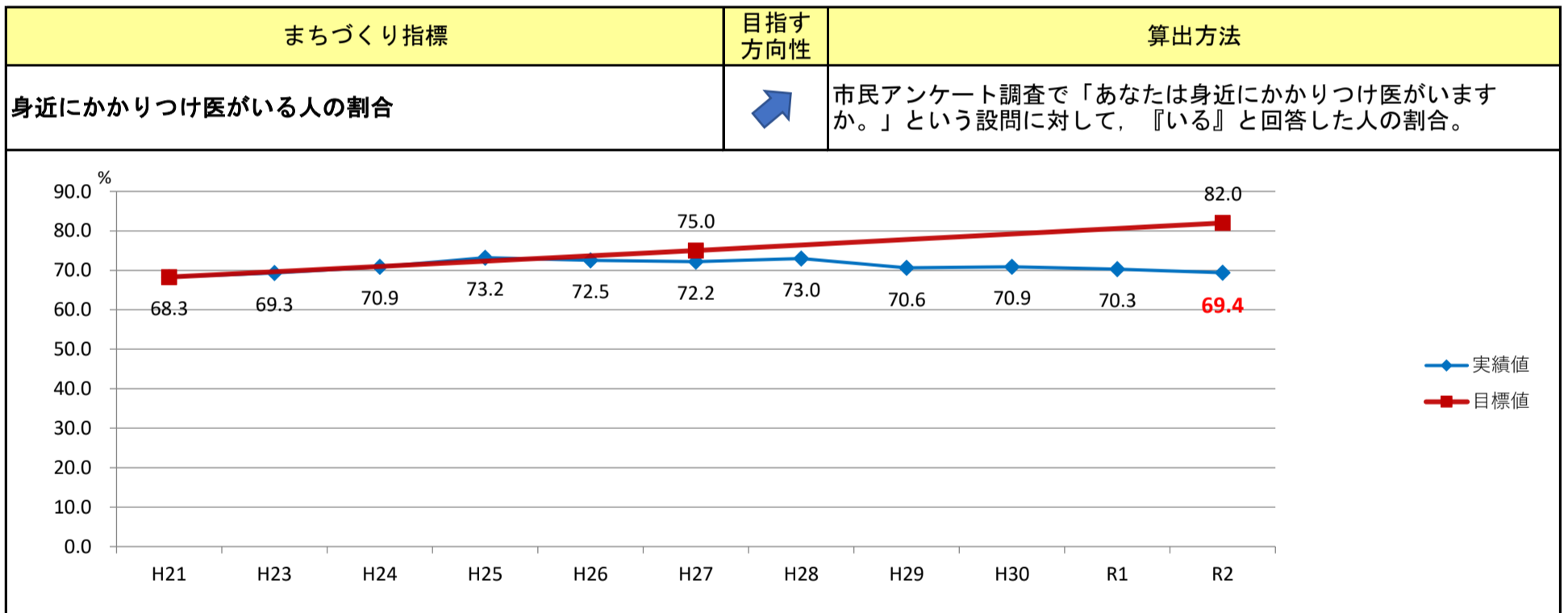


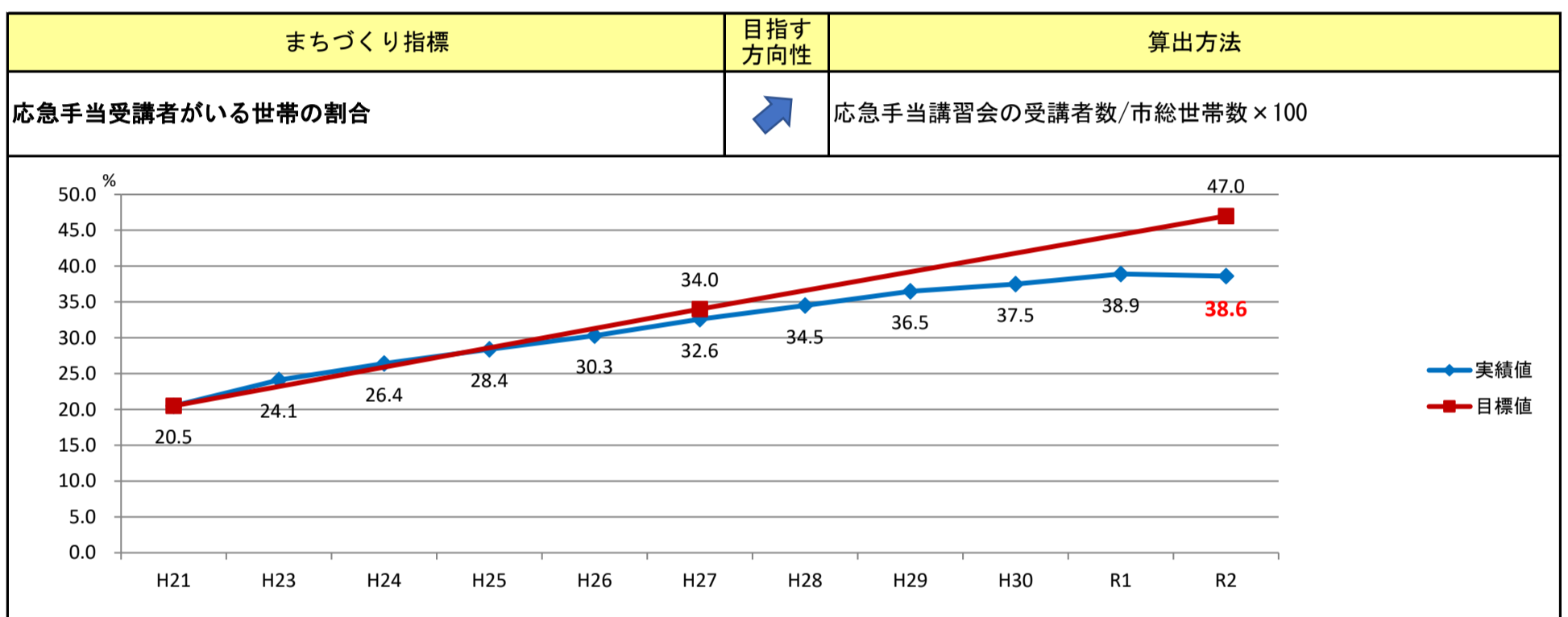
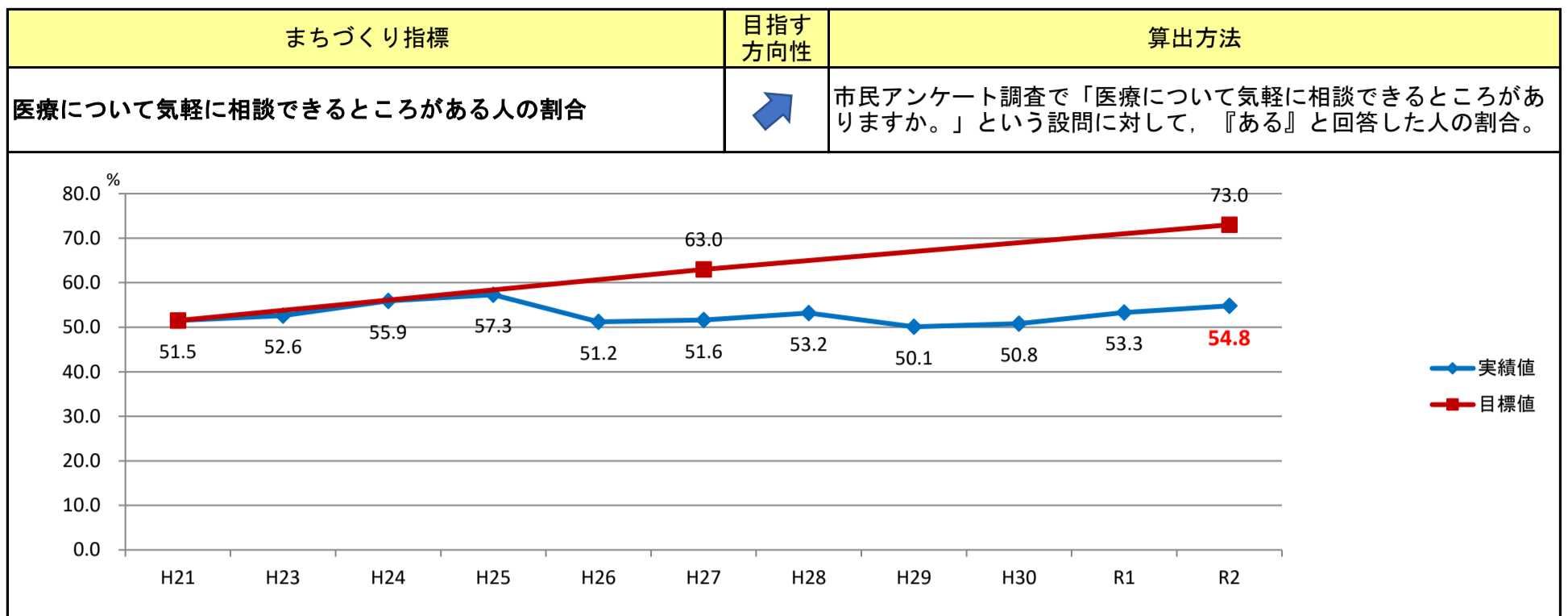
【安全・安心】めざすまちの姿 市内のどこに住んでいても、だれもが安心して、医療を受けている

市の基本方針

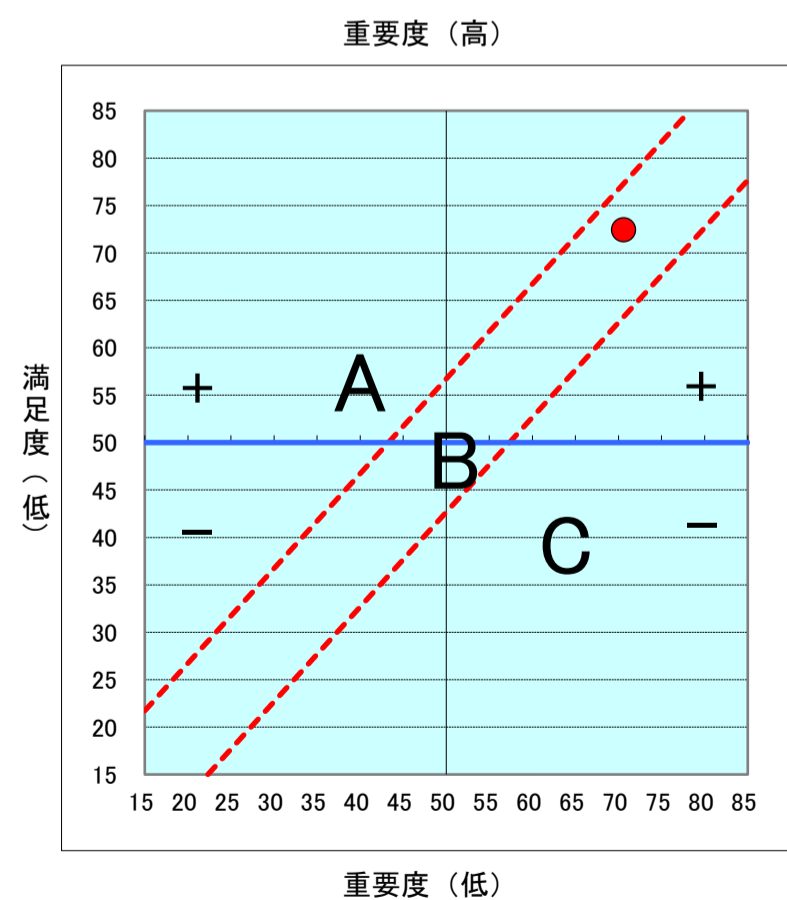
- 医師会など関係機関と連携をさらに強化し、初期救急患者の受入態勢など救急医療体制の確保・充実に一層努めるとともに、かかりつけ医制度の普及啓発を行い、救急医療機関の適正な利用について市民の理解が得られるよう努めます。また、倉敷市立市民病院においては、安全・安心な医療をめざし、地域の中核病院として医療体制を強化します。
- 新型インフルエンザなどの新型感染症や、大規模災害など緊急時に市民の健康被害が最小限に抑えられるよう健康危機管理体制の強化を図ります。
- 医薬品の正しい知識の普及啓発や相談業務など、生活衛生における安全・安心の確保に努めます。また、難病患者とその家族等への支援を行い、医療提供を受けながら在宅療養できる体制を充実します。
- 市民の救命率向上をめざし、病院到着前の高度な救命処置が受けられるよう、救急車をはじめとする救急資器材の高度化と、救急救命士の養成などによる救急隊員の資質向上を図るとともに、医療機関との連携を強化します。また、市民や事業者に対して、広報くらしき等で応急手当についての普及啓発を進めます。さらに、救急車の適正利用や夜間に受診する傾向への対策のため、かかりつけ医をもつことや、夜間受診のことを含めた病院のかかり方等について、広く情報提供を行います。
- 国民健康保険、高齢者の医療制度の啓発や、円滑な財政運営に努めるなど、必要な取組を進めます。

数値目標





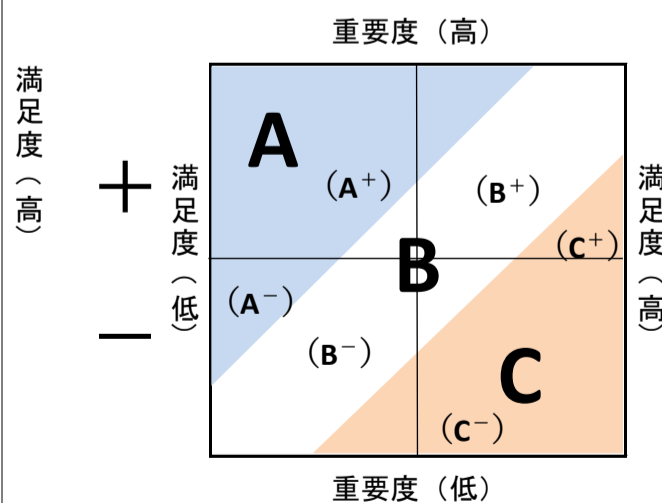
市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁺	72.43	70.58

●重要度に見合った満足度が得られている (B)
●重要度が平均値より高い (+)

【グラフの見方】



- A : 重要度に見合った満足度が得られていない領域
- B : 重要度に見合った満足度が得られている領域
- C : 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割 (3×2領域)
- + : 重要度が平均値より高い部分
- : 重要度が平均値より低い部分
- A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻
- A⁺ : 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	休日夜間在宅当番医等運営事業	(Ⅰ) 市民の休日・夜間における初期救急医療を確保する。 (Ⅱ) 休日診療4,408人, 夜間診療375人, 休日歯科診療701人の診療を各地区で行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	57,897
	病院群輪番制病院運営事業	(Ⅰ) 休日と夜間における重症救急患者の受入体制を確保する。 (Ⅱ) 病院群輪番制病院運営事業, 小児救急医療支援事業, 協力病院当番制病院運営事業を実施し, 医療体制を確保した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	48,369
	休日夜間急患センター運営事業	(Ⅰ) 市民の休日・夜間における初期救急医療を確保する。 (Ⅱ) 休日診療1,709人, 夜間診療1,471人の診療を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	70,873
創	高梁川流域地域医療普及啓発事業	(Ⅰ) 医療の機能分化に対する知識を深め, 適切な地域医療環境の構築を図る。 (Ⅱ) 高梁川流域圏域において, 地域医療の普及啓発を行う団体に助成を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	400
	市民病院医療体制の充実	(Ⅰ) 医師の増員等診療体制の充実を図るため院内保育所の運営を行った。 (Ⅱ) 医師, 看護師, 管理栄養士等の利用があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	8,227
	市民病院繰出金(周産期医療)(再掲)	(Ⅰ) 常勤産婦人科医師を複数配置し, 地域の出産環境の向上を図る。 (Ⅱ) 分娩件数96件 (Ⅲ) 継続して実施する。	39,235
	骨髄バンク推進事業	(Ⅰ) 骨髄移植等の知識の普及啓発を行い, 骨髄バンク事業の推進を図る。 (Ⅱ) 骨髄バンク推進月間における広報, ドナー登録会の実施, ドナーとドナーを雇用する事業者への助成7件を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。さらなる普及啓発に努める。	720
	地域健康危機管理体制推進事業(再掲)	(Ⅰ) 新たな感染症等の発生や大規模災害時に市民の健康被害を最小限に抑える。 (Ⅱ) 新型コロナウイルス感染症対応について, 医師会・病院協会等との連絡会議を年12回開催し, 感染の動向や対応状況について共有を行うとともに, 健康危機に対する地域の対応力向上を図った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	628
	小児慢性特定疾病医療支援事業	(Ⅰ) 医療費を負担することにより患者家族の負担を軽減する。 (Ⅱ) 559人を認定し, 医療費の負担軽減に貢献した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	142,850
	指定難病医療支援事業	(Ⅰ) 国が指定した難病の医療費助成に係る各種申請等の受付を行う。 (Ⅱ) 4,551人を認定し, 患者および家族の医療費の負担軽減に貢献した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	9,909
	難病患者家族支援事業	(Ⅰ) 患者の不安解消, 安定した療養生活確保と家族の生活の質向上を図る。 (Ⅱ) 訪問による個別相談や専門スタッフによる相談会の開催, さらに関係者の技術向上やネットワークのづくりのための研修会やケア会議を開催した。患者家族交流会は新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止した。 (Ⅲ) 継続して実施する。ただし, 新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から適切な実施時期と規模を検討する。	783
	後期高齢者医療事業	(Ⅰ) 安定的な医療を確保し, 高齢者の福祉の増進を図る。 (Ⅱ) 後期高齢者医療制度に基づく医療等の保険給付を岡山県後期高齢者医療広域連合と連携して実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	6,418,000
	国民健康保険事業	(Ⅰ) 安定的な医療を確保し, 国保加入者の福祉の増進を図る。 (Ⅱ) 保険料収納率向上と医療費の適正化に取り組み, 収納率を1.34ポイントアップすることができた(現年度分: 94.73%)。 (Ⅲ) 継続して実施する。 保険料収納率向上対策及び医療費の適正化施策を継続する。	45,271,676

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
都 創	阿知3丁目東地区市街地再開発事業 (再掲) (地域医療施設整備)	(Ⅰ) 地域に必要な診療科を中心とした地域医療施設(医療モール)を整備する。 (Ⅱ) 再開発組合において、施設建築物及び周辺公共施設の工事が順調に行われている。 (Ⅲ) 令和3年度の事業完了に向けて、継続して実施する。	2,646,296
	救急高度化推進整備事業	(Ⅰ) 救急隊員の質を底上げして、救命率の向上を図る。 (Ⅱ) 救急救命士5人を運用開始した。救急救命士の技術取得のため8人を実習に派遣した。救急救命士以外の救急隊員232人が再教育を受けた。また、高規格救急車を2台更新した。応急手当の講習を16回開催し、251人が受講した。 (Ⅲ) 新型コロナウイルス感染症の感染防止を図りながら継続して実施する。	119,577